

雨水排水計算

宅地符号	宅地面積	横穴式浸透施設必要延長計算	必要延長	計画延長
NO.1	122.58㎡	$122.58\text{m}^2 \times 0.03\text{m}^3/\text{m}^2 \div 0.8\text{m}^3/\text{m} =$	4.60m	< 4.7m
NO.2	105.99㎡	$105.99\text{m}^2 \times 0.03\text{m}^3/\text{m}^2 \div 0.8\text{m}^3/\text{m} =$	3.98m	< 4.1m
NO.3	109.96㎡	$109.96\text{m}^2 \times 0.03\text{m}^3/\text{m}^2 \div 0.8\text{m}^3/\text{m} =$	4.13m	< 4.2m
NO.4	120.61㎡	$120.61\text{m}^2 \times 0.03\text{m}^3/\text{m}^2 \div 0.8\text{m}^3/\text{m} =$	4.53m	< 4.6m
NO.5	123.67㎡	$123.67\text{m}^2 \times 0.03\text{m}^3/\text{m}^2 \div 0.8\text{m}^3/\text{m} =$	4.64m	< 4.7m
NO.6	120.42㎡	$120.42\text{m}^2 \times 0.03\text{m}^3/\text{m}^2 \div 0.8\text{m}^3/\text{m} =$	4.52m	< 4.6m
NO.7	106.49㎡	$106.49\text{m}^2 \times 0.03\text{m}^3/\text{m}^2 \div 0.8\text{m}^3/\text{m} =$	4.00m	< 4.1m
NO.8	107.82㎡	$107.82\text{m}^2 \times 0.03\text{m}^3/\text{m}^2 \div 0.8\text{m}^3/\text{m} =$	4.05m	< 4.1m
NO.9	106.45㎡	$106.45\text{m}^2 \times 0.03\text{m}^3/\text{m}^2 \div 0.8\text{m}^3/\text{m} =$	4.00m	< 4.1m
NO.10	121.41㎡	$121.41\text{m}^2 \times 0.03\text{m}^3/\text{m}^2 \div 0.8\text{m}^3/\text{m} =$	4.56m	< 4.6m

必要雨水浸透量 0.03m³/m²
横穴式浸透施設処理能力 0.8m³/m
横穴式浸透施設計画総延長 L=43.8m

道路排水計画

必要雨水浸透量 0.03m³/m²
L.O浸透側溝処理能力 0.2m³/m

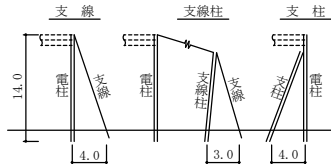
L.O浸透側溝計画延長 = 18.1m+15.7m = 33.8m

雨水処理対象面積 = 211.58m (公共施設求積図参照)

L.O浸透側溝必要延長 = $211.58\text{m}^2 \times 0.03\text{m}^3/\text{m}^2 \div 0.2\text{m}^3/\text{m}$ = 31.7370 = 31.8m (< 33.8m 計画延長)

東電柱凡例

東電柱 CP(14)
支線 (4) ()内は電柱長 m
支線柱 (3) ()内は支線根開き幅 m
支柱 (4) ()内は支柱根開き幅 m
私柱 △



凡例

● T.1	ト ラ バ ー 点
○	民 コ ン ク リ ー ト 標
⊙	民 金 属 プ レ ー ト 標
⊠	市 金 属 標
⊙	市 金 属 プ レ ー ト 標
⊕	鉄 板
○汚	汚 水 人 孔 及 び 汚 水 管
○雨	雨 水 人 孔 及 び 雨 水 管
○消	消 火 栓
○仕	仕 面 切 弁
○制	制 水 弁
○汚	汚 水 ま す φ200
○取	取 付 管 VUφ150含む
○雨	雨 水 ま す 及 び 取 付 管
GH10.00	現 況 地 盤 高
FH10.05	計 画 地 盤 高
RFH9.95	道 路 計 画 高
BFH10.10	新設コンクリートブロック計画天端高
BCFH10.10	既設コンクリートブロック天端高
開 発 事 業 区 域	
NO.1 120㎡ FH9.90	宅 地 符 号 敷 地 面 積 計 画 地 盤 高
○	現 場 打 留 ま す
==	横 断 路 渠 (2 4 0 用)
---	L.O浸透側溝及びB溜ます
---	L.U側溝及びL.U縁境
---	地先境界ブロックC(150x150)
---	給水管(取出φ20)地下埋設物
---	横穴式浸透施設
○	防 犯 透 灯
CB120 1段積	コンクリートブロック W=150
---	ガス管 φ50mm 引込管φ30mm

面積集計表

宅 地	1145.40㎡	84.22%
道 路	211.58㎡	15.56%
ごみ・資源 集積場所	3.02㎡	0.22%
開発事業面積	1360.00㎡	100.00%

図 面 の 名 称		土 地 利 用 計 画 図	
開発事業の名称		〇〇不動産〇〇分譲地造成工事	
開発事業区域に含まれる地域の名称		相模原市中央区〇〇字〇〇787番1の一部	
設計者名		株 式 会 社 〇 〇 測 量 代 表 取 締 役 〇 〇 太 郎	
縮 尺	1/200	図面番号	〇 葉のうち 8番

図面に、明示すべき事項は
開発行為等申請の手引きを参照のこと。

(V. 開発行為許可申請の手引き 3. 開発行為許可申請添付図面一式)

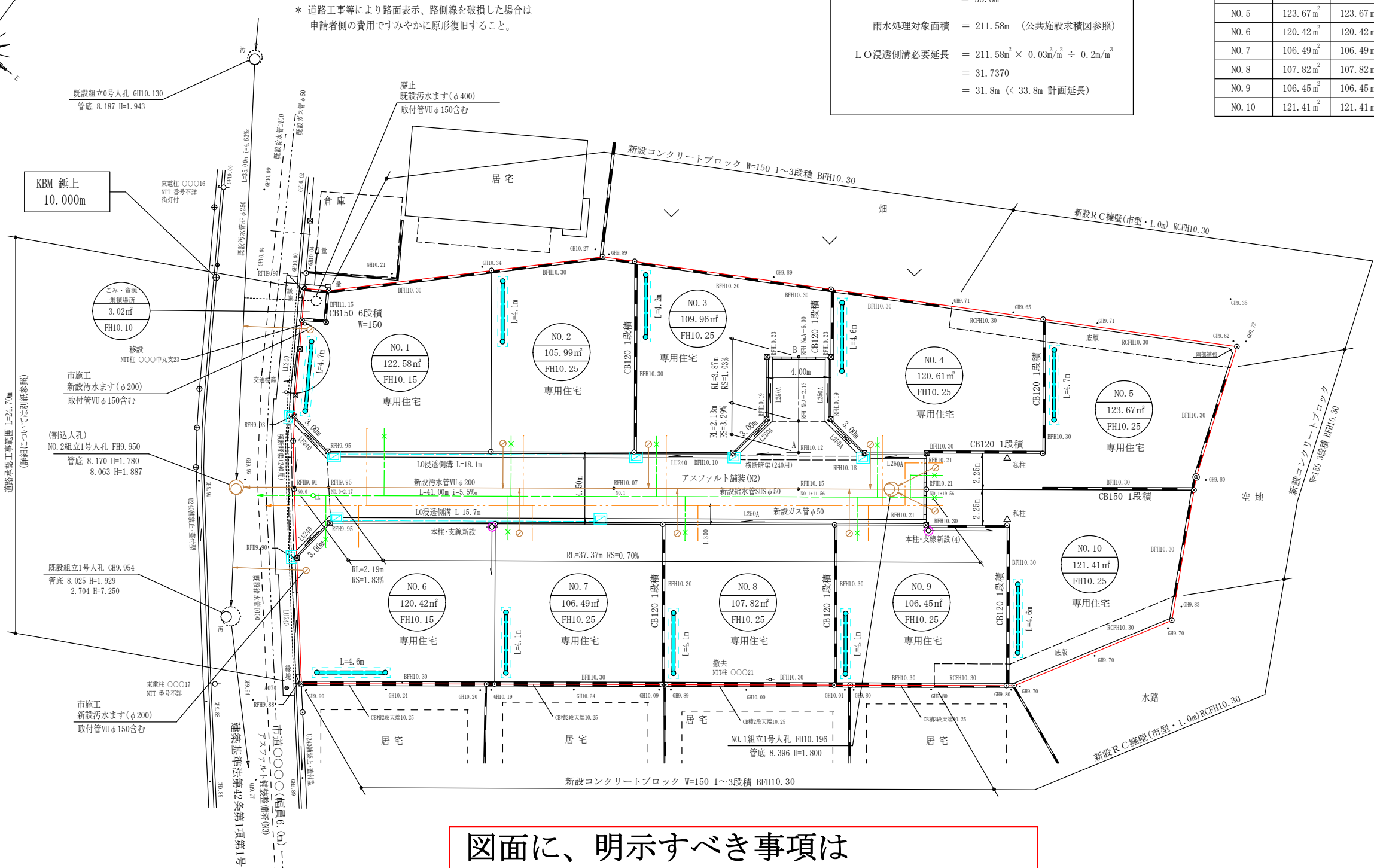
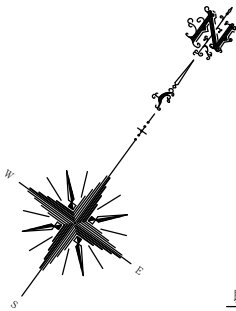
誓 約 事 項

- 本開発行為着手前に、道路台帳平面図に基づき現地において道路境界を確認します。(道路台帳区域内)
- 区域内新設道路は、舗装前に市道路計画課の路盤検査(現場密度試験、路盤厚、構造物、埋設管理め戻し状況等)を受けます。
- 市に帰属する道路部分は、道路境界確定図(座標一覧表の記載含む)及び公共施設(道路)用地確定測量図を作成し、完了検査予定日までに検査用1部、検査完了後に必要部数を市道路計画課に提出します。
- 工事関係車両によって道路を破損した場合には、申請者側の費用ですみやかに原形復旧します。
- 道路工事等の施工にあたり、現場と協議図面とに疑義が生じた場合には、速やかに市道路計画課と協議します。
- 区域内新設道路埋設管の埋戻し材はRC-10またはC-10を使用し、適切に埋戻しを行います。
- 市に帰属する道路用地に既設埋設管(上下水道・ガス等)がある場合は、撤去又は市道となった時点で道路占用許可を受けます。また、埋設管等を新設する場合にも、同様に道路占用許可(市帰属下水・雨水管は除く)を受けます。
- 各宅地の雨水を浸透施設に接続、処理できる構造とします。また、宅地において段差等により分断される場合も接続、処理できる構造とします。
- 開発事業に伴い設置される雨水調整施設については、十分維持管理をします。
- 開発区域外周を除く一部宅地のコンクリートブロックについては、建築時に施工します。
建築時に施工するコンクリートブロックは、開発事業技術基準に定めるものと同等以上の仕様とします。

※既設水道管理設位置は、水道局の管理図面を基にしております。
※既設ガス管理設位置は、ガス会社の管理図面を基にしております。

境界標について

※既存隣地境界標については、完了検査時に直視確認できるよう工事施行者がコンクリートブロック等を切欠きして施工・管理します。
※新規に埋設する市道路境界標、ごみ・資源集積場所境界標及び民境界標については、工事施行者が構造物と一体化埋設します。



* 道路工事等により路面表示、路側線を破損した場合は
申請者側の費用ですみやかに原形復旧すること。